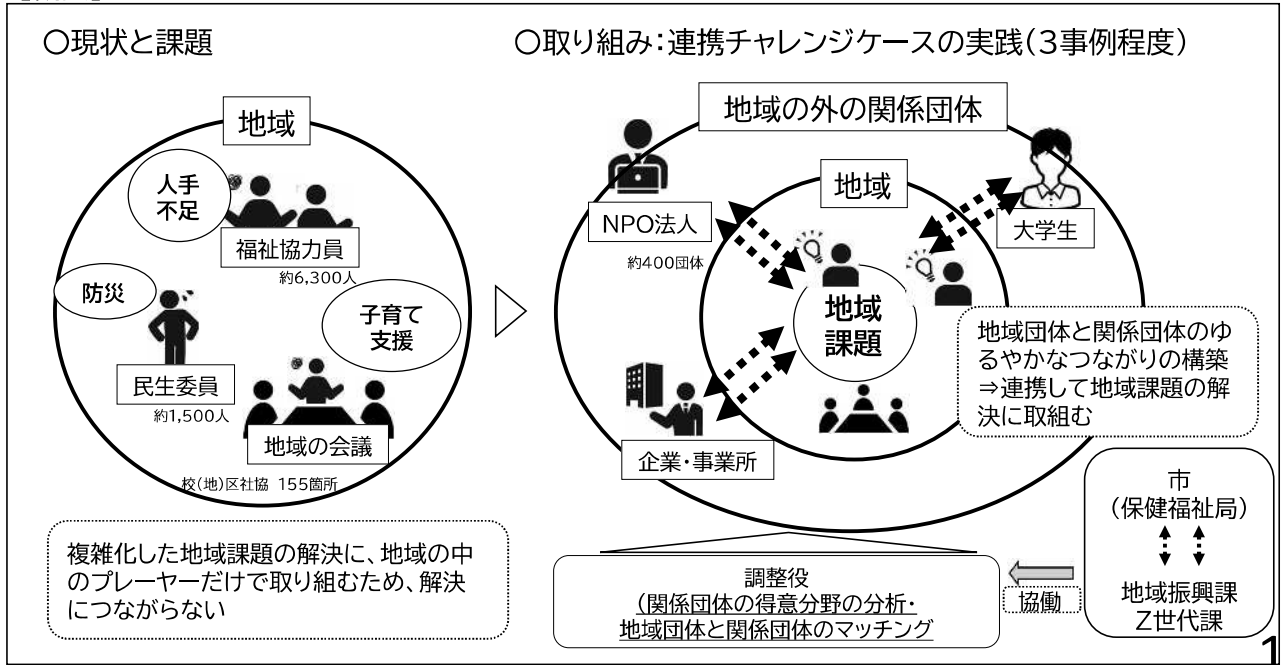




事業名:チャレンジ!コネクトアクション

〔目的〕 “地域の中”にいる人たちだけでは解決できない課題に対し、“地域の外”で活動しているNPO法人や企業、大学生などと連携して解決に取り組むため、「橋渡し型のゆるやかな関係づくり」を行う。

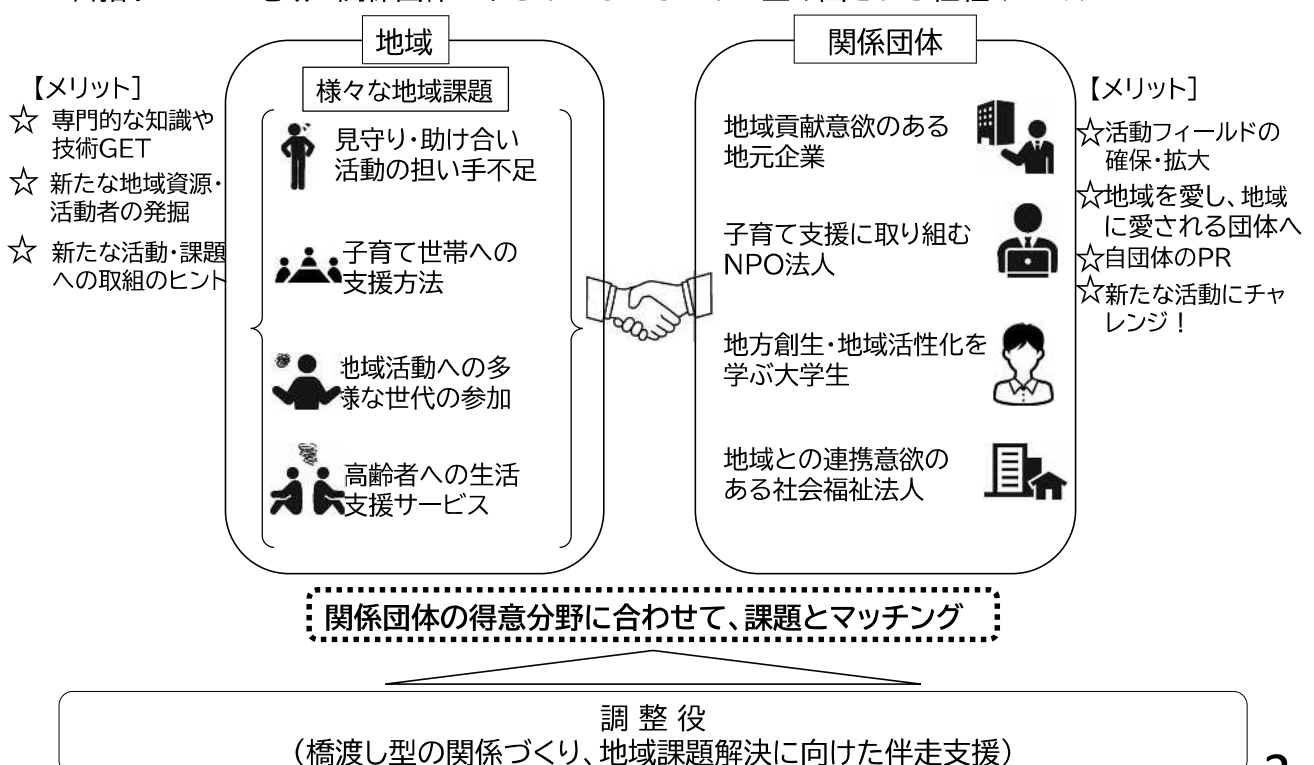
〔概要〕



事業概要(2/2)

○効果と他地域への展開

- ・連携チャレンジケースの事例をマニュアル化して他地域へ展開
- ・目指すゴール:地域と関係団体のゆるやかなつながりが生み出される仕組みづくり



事業名：チャレンジ！コネクタクション

1. 課題・背景

家族や地域のつながりが希薄化し、複雑・複合化した地域福祉課題が顕在化している。また、若い世代を中心に孤独を感じる人が増加するなど、社会的孤立や関係性の貧困が大きな課題となる一方で、地域の担い手不足は進行している。

2. 目的

校(地)区社会福祉協議会など既存の地域団体が自分たちの力だけでは解決できない課題に対し、NPO団体などのテーマ性や専門性を持った団体と連携して、「ゆるやかなつながりが地域課題を解決する」仕組みを構築し、学生や地域外活動者との協働による地域交流人口の拡大を図る。

3. 事業概要

地域が抱えている福祉課題に外部の力を借りて対処していくため、地域団体と関係団体のつながりを創出するためのマッチングを行う。

具体的には、地域の中だけでは解決できない福祉課題を抱える地域が、その解決に必要な知識や情報、スキルを持ち、地域貢献の意識がある関係団体とゆるやかなつながりを構築し、連携して課題の解決に取り組めるよう、地域支援コーディネーター（市社協）等による調整（関係団体の得意分野の分析・マッチング）を行う。

